牛津川下流域ってこんなとこ!

牛津川下流域の堤防は、軟弱な有明粘土(通称ガタ土)の上にあります。特にJR橋より下流は曲がり くねって勾配も5kmの延長に対して1mの高低差しか無く、通常水が流れている幅も広くありません。 洪水にそなえ川の中を掘削し、数年後にはガタ土が堆積してしまい、効果が長続きしにくいところです。 又、高水敷はヨシに覆われており、洪水の水はヨシが邪魔して流速が遅くなり、上流の水位が下がりに くい一因となっています。



国道34号 県道 JR長﨑本線 昔の堤防 断面 断面A

土 交 通

> 武 雄

> 河

Ш

務

所

河川改修の内容は

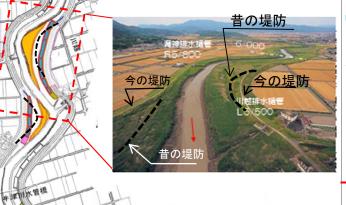
平成24~26年度に、右の写真にある「昔 の堤防(右図と写真の黒の点線)」を「今の堤 防」に作り替えました。

これにより川の曲がりを緩和し、川幅を広くしま した。

今回、川の中(右図の黄色部分)を掘ります が、高水敷のヨシ繁茂対策として、新たに池 (右の図の青色箇所)を作ります。

これは、いつも水に浸かっている場所にはヨ シが生えないという性質を利用して、大雨時に 川の水を流れやすくするものです。

工事は今年度末までの工期で始まっています。 御協力御願いします。



凡例

発 行 所 武雄河川事務所 牛津出張所 小城市牛津町上砥川47-9 (〒849-0305) TEL(0952)66-0315 FAX(0952)66-0326 ホームページアドレス

mlit.go.jp/takeo/

9月1日 第 17 号 紙面の問い合わせ

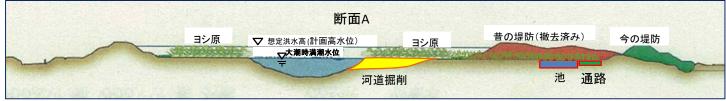
http://www.qsr.

上記発行所へ

池・・・ヨシが生えないように普段から水を溜めます。 →ヨシが生えなくなり大雨時に川の水が流れや すくなります

通路・・・池を管理するための通路です

河道掘削・・・河に堆積した土砂を撤去します →川幅が広くなり大雨時に川の水位 が低下します



県道江北岸刈線



ヨシ防止池の試験施工状況 池の効果は5年以上前から試験 して確認しています。

←平成24年度当時の状況

令和元年度6月の状況→



川の状況を手早く知るには「川の水位情報」の活用もあり



スマートフォンやパソコンで<mark>川の水位情報</mark>を 開いてみて下さい。

下の日本地図が出てきます。

地図を拡大すると牛津川の情報を見ることができます。



青いマークをクリックする と右のグラフが出てきま す。

堤防の高さ(氾濫開始水位)をOmとして水面との 差を表示しています。



(3)

普通の水位計でいつでも 表示されてます。



危機管理型水位計で洪水時に水位情報を把握するため、一定以上の高さでないと動きません。



カメラのマークで現地状 況の画像を見ることが出 来ます。

六角川や牛津川だけでなく支川や県河川の水位も 確認出来ますので、状況 確認に役立つのではない でしょうか。

